

寿都郡黒松内町字目名 佐藤英幸氏の経営概要

1 黒松内町の概要と農業

後志管内黒松内町は、北海道の南西部に位置し、ブナ北限の里です。自然と調和した農業の振興とふるさとの資源を活用した農村の発展を目指しています。

農業は、酪農・畜産を基幹としています。畑作では、種子ばれいしょを中心に輪作作物として小麦・大豆・小豆を作付けし、水稲はもち米を生産しています。

手作り加工センターでは、アイスクリーム・ハム・ソーセージ・チーズなどの加工と販売を行っています。



写真1 黒松内町特産物手づくり加工センター（トワ・ヴェール）

2 佐藤農場の経営概要

家族構成は6人で稼働人員は5人、経営面積48haの内35haは借地です。種子ばれいしょを経営の中心とし、畑作物4品を作付けしています。てんさいは直はん栽培です。

近隣酪農家と可能な限り、交換耕作を実施し輪作に努めています。

表1 平成28年作付面積

経営面積	秋まき小麦	春まき小麦	種子ばれいしょ	豆類	てんさい
48ha	4 ha	13ha	6 ha	23ha	2 ha

3 春まき小麦の生産実績

10a当たり収量は、黒松内町の3ヶ年平均に比べ154%、平成28年は190%と毎年高い水準を維持しています。

品質は3ヶ年平均で1等麦率90%、ランク区分の品質評価項目はすべて基準値内です。

表2 生産実績

年産	品種	面積 (ha)	10a当たり収量 (kg)		1等麦率 (%)
			佐藤氏	町平均	
平成26年	春よ恋	12.4	401	331	88
平成27年	春よ恋	11.6	452	284	84
平成28年	春よ恋	13.2	495	261	99
3ヶ年平均		12.4	449	292	90

*データ：JAようてい

表3 品質等測定値 (H28)

容積重 (g/ℓ)	F.N (sec)	蛋白含量 (%)	灰分含量 (%)
844	423	12.4	1.67

*データ：JAようてい

4 春まき小麦栽培技術の特徴

(1) 土づくり

明・暗きよの整備、前年にサブソイラ施工の心土破碎による排水対策を実施しています。

隣町に借地があり、同じように借地を持つ近隣酪農家との交換耕作により、輪作作物として飼料作物（サイレージ用とうもろこし）を組み込む場合があります。

土壌改良資材として炭カル40kg/10a施用、さらに3～4年に1回程度牛糞堆肥4t/10a施用し土壌物理性の改善を図っています。定期的な土壌診断に基づく施肥も行っています。

(2) は種

融雪促進により十分に土壌水分が下がってからの耕起と、4月中の早期は種を心がけています。春はパワーハロー1回のみで、硬盤層の形成防止や、は種床の均一化を図っています。

ドリルは5戸で共同所有しています。

基肥はBB556を使用し、高窒素成分とBB肥料により経費削減を図っています。

は種後ケンブリッチローラーにより鎮圧し、出芽率の向上に努めています。



写真2 鎮圧作業

(3) 状況に応じた管理と病害虫雑草防除

止葉期に植物成長調整剤を散布し、倒伏防止に努めています。ほ場観察に基づき、平成28年は赤かび病の防除を5回行っています。赤かび病防除時に硝酸カルシウムと亜リン酸の葉面散布により子実粒重の増加を図っています。雑草の種類に対応した除草対策をしています。



写真3 GPSガイダンス

(4) GPSガイダンスによる栽培管理

GPSガイダンスシステム（ニコントリンブルCFX750）を活用することで、作業精度が高まりました。また自動操舵システムにより体の負担が軽減されたり、夜間の管理作業も行っています。



写真4 収穫作業

(5) 適期収穫による品質の向上

早期は種を行うことにより、収穫は地区の

平均よりも早くなります。このため、天候の急変に備えて収穫を早める準備を行った上で、成熟期以降は子実水分が適正になるまでは場においた後、収穫しています。

また、農協・共済・普及センターによる小麦作付全筆調査による適期収穫予測情報等も参考としています。

5 春まき小麦の耕種概要 (H28)

融雪期	は 種 (kg/10a)			土性	施 肥 (kg/10a)				
	期	量	方法		区 分	窒素	燐酸	加里	時 期
4月8日	4月10日	18kg	グレンドリル (12.5cm)	壤土	基肥 BB556 80kg 追肥 硝酸カルシウム	12 0.84	12	12.8	4月10日 6/22～

除草剤散布			病 害 虫 防 除	
時 期	剤名・散布量	対象病虫害名	時 期	使用薬剤・散布倍率
4月12日	ガレス乳剤 150ml	赤かび病	6月22日	シルバキュアフロアブル・2,000
		赤かび病	6月28日	ベフラン液剤25・1,000
		赤かび病	7月4日	シルバキュアフロアブル・2,000
6月3日	MCPソーダ塩 300ml	赤かび病	7月11日	トップジンM水和剤・1,000
		赤かび病	7月18日	チルト乳剤25・1,000

6 その他

- ・近隣の町の遊休地を借地して耕作放棄地の拡大を防止し、地域農業の維持に貢献しています。
- ・JAようてい小麦生産組合監事、黒松内町畑作生産組合長として、JAようてい畑作研修会等において自らの優良事例を発表し栽培技術の共有化を図るなど、組合員相互の切磋琢磨に努めています。
- ・製粉業者と連携し春まき小麦「春よ恋」を製粉し、「佐藤農場の強力粉」として販売しています。地元開催の「黒松内町ビーフ天国」へ出店し、地産地消により生産者と消費者との絆を強めています。



写真5 「ビーフ天国」へ出店した佐藤氏



写真6 小麦粉1kg袋

（ 執筆者名：後志農業改良普及センター 主査 高橋 勇人
JAようてい営農推進課留寿都地区リーダー 柳谷 亮 ）